

商法 出題の意図

問題1

株主による取締役の行為の差止（会社法360条）を問う問題である。

Aの差止請求における主張内容について検討することを求める。特に差止事由（会社の目的外行為、法令定款違反行為およびこれら行為による会社への著しい損害のおそれ）について、取締役の職務義務（忠実義務・善管注意義務）との関係から、検討することを求める。具体的には、黒字事業を譲渡する事について会社経営者の職務義務違反となるのか、経営判断として尊重されるべきなのか、という点を中心に記載することを求める。

問題2

株主の間接損害に対する取締役の対第三者責任（会社法429条）の成否を問う問題である。株主の間接損害については原則として代表訴訟によって会社への損害を求めるべきであり、株主は「第三者」に該当しないため、429条1項に基づく責任追及は認められないというのが裁判例（東京高判平成17年1月18日金判1209号10頁）と通説の立場である。株主による直接の対第三者責任追及が認められない理由について記載することを求める。

なお、通説とは異なる立場を取っていても、その理由について論理的な説明ができていれば点を与える。